

同窓会

の

# チカラ

同窓会のための情報誌

2020

紹介●同窓会活動紹介 1

・くすのき未来塾：埼玉県立川越高等学校同窓会

・「同窓会の輪」のその後：

東京・都立高校同窓会連絡協議会

リレー連載●私と同窓会

・引地洲夫（福島県立福島商業高等学校同窓会会長）

紹介●同窓会活動紹介 2

・部活動OB会：香川大学教育学部附属高松中学校同窓会（梅友会）

・北大的就活生支援：北海道大学経済学部同窓会

・社会貢献と同窓会：大阪府立阿倍野高等学校芝蘭会（同窓会）

わが学び舎

・埼玉県立松山高等学校同窓会

*Our Proud*

埼玉県立松山高等学校記念館（旧・埼玉県立松山中学校校舎）

1923年（大正12年）3月竣工 木造2階建て／国登録有形文化財（建造物）

Vol. 12

# くすのき未来塾

## 埼玉県立川越高等学校同窓会

未来を担う子供たちの育成と  
地域社会への貢献をめざして



◀ 県立川越高等学校正門と大クスノキ

● 埼玉県立川越高等学校は、令和元年創立百二十周年を迎えた。同窓会では、この記念の年に、未来の日本を背負って立つ子供たちの知的好奇心を刺激し、「学ぶ力」や「生きる力」の育成と地域社会への貢献を目的として、国内外で活躍するOBを講師に、地元川越市内の小中学生を対象とした「くすのき未来塾」を立ち上げた。その「塾」の具体的な運営と今後の展開予定などを、同窓会会長の菊池建太氏と、事業実施運営委員会代表の金子保夫氏に伺った。

### 未来塾誕生の経緯と私たち

埼玉県立川越高等学校は、明治三十二年に埼玉県第三中学校として開校して以来、令和元年でちょうど百二十年になります。「くすのき未来塾」は、この周年事業の一環として企画されました。以前から、川越高校では卒業生に依頼して講演などを在校生対象に開いておりましたから、この「未来塾」は、その経験の延長にあると言えるかもしれません。

川越高校は平成十八年から二十八年までの十一年間スーパーサイエンスハイスクールに指定されていましたが、また平成二十七年には、OBで東京大学の梶田隆章博士がノーベル物理学賞を受賞するなど、「知の世界」へ熱いまなざしが注がれた時期でもありました。百二十周年記念事業の実行委員会がスタートしたのは、まさにそういう気運が高まった時期でした。

「くすのき未来塾」の目的は、かなり広

い言い方になりますが、未来を担う子供たちの「知的好奇心」を刺激すること、そのきっかけとなりうる場を用意することで、そしてその上で、子供たちに学ぶ力と生きる力を身に付けてほしいというのが狙いです。講師は本校卒業生ですが、必ずしも教職者ではありません。受講者は川越市内の小学四～六年生です。参加費は無料。講義は母校の教育活動に支障のない土曜日の午後で、前半が四十五分、十五分の休憩をはさみ、後半が四十五分。最後に質疑応答がありますので、時間が少し伸びる場合もあります。

この「くすのき未来塾」は、「くすのき未来塾事業実施運営委員会」という、同窓会会長、事務局長他八名の同窓生で運営しています。講師の人選、依頼の交渉、受講者の募集、名札の作成から当日の運営まですべてを同窓生が行います。そして、受講者を募集する小学校や会場となる母校に迷惑や負担をかけないように心がけています。たとえば、受講者の募集方法は、案内状（講座開催のお知らせのチラシ）の配布です。同窓会が母校協力のもと案内状を印刷し、市の教育委員会を通じて市内の三十二校の約九千五百名に配布します。その際には、教室などで配る先生の負担を減らすために、各校学年分ごとに当該児童の人数分を正確に用意しています。

また、当日参加者に配る「名札」も自分たちの手作りです。そしてこの名札が参加証でもあり「くすのき未来塾」を受講したという記念の品でもあります。四回すべての名札を持っている子供が何人かいます。会場は川越高校の図書館棟二階のセミ

ナー室、参加者定員は原則五十から六十人くらいで、これにほぼ同数の保護者が加わります。参加者は応募者の中から抽選で選ばれますが、中には参加希望者がかなり多い場合があり、同じ講座を二度行うことにするということもありました。現に、第三回講座では、参加希望者がたいへん多かったのです。その上、希望者全員に学ばせたいとの講師の強い意向もあり、同じ講義を二回、翌月の土曜日にも行う予定に変更できましたが、一回目はあいにく大型台風のために中止となりました。結局二回目の参加者数を増やす形で対応しましたが、結果として一回目に参加する予定の子供たちの中で一部の子供が参加できなくなるという大変残念な事が起きてしまいました。受講できなかった保護者からのメッセージで「台風という自然災害によるやむを得ない理由ではあるけれど、参加を楽しみにしていた子供の落胆ぶりは相当なものです」ともいただき、なんとも切ない気持ちになりました。

「くすのき未来塾」は毎回川越高校の図書館棟二階のセミナー室で行うことと決めていますので、参加者（受講者）の大幅な増加は難しいのです。従って今後も参加募集人数は同じような数で推移せざるを得ないのが現実です。

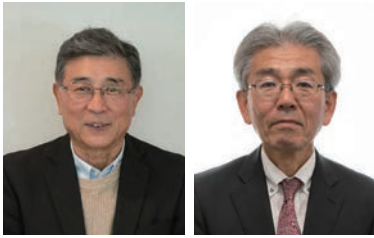
### 未来塾のテーマとこれから

「くすのき未来塾」は埼玉県立川越高校創立百二十周年記念事業の柱の一つとして始まりました。実行委員会では当初より、母校のあるこの思い出深い川越で、未



●連絡先

埼玉県立川越高等学校 同窓会事務局 (担当:金子保夫)  
〒 350-0053 川越市郭町 2-6 川越高等学校内  
TEL & FAX : 049-225-9071 (直通)  
URL : http://alumni.gnk.cc/kawagoe/  
E-mail : alumni@hb.tp1.jp



左: 菊池 建太 (きくち・けんた) 氏 (高 17)  
県立川越高等学校 同窓会会長  
右: 金子 保夫 (かねこ・やすお) 氏 (高 25)  
くすのき未来塾事業実施運営委員会代表



▲創立 120 周年記念ポスター

来を担う人材の育成を目指すような地元への貢献事業の実施について検討してきました。「くすのき未来塾」開講の背景にはこのような経緯があります。参加者を小学校高学年に限定しているのは、中学生は高校受験を控えていますし、正直言いまし、川越高校の生徒募集の一環ではないかと思われる懸念もあります。我々としては、そういう誤解を抱かれるのは不本意です。当塾発足の精神からも残念なことです。そこで、これからの未来をいっばい抱えた小学生を対象にしようと思われました。川越にはすでに平成二十年に設立された日本初の子ども大学「NPO 法人子ども大学かわごえ」があり、いろいろ参考にさせていただきましたが、「くすのき未来塾」は同窓会員だけの手作りによる企画・運営で、さらに特色ある活動を行うことを目指しています。

川越高校の「くすのき未来塾」の授業内容の主な分野は、

- 一 科学的な「なぜ？」を追求する。
- 二 自分を見つめ将来を考える。
- 三 ふるさとを愛する心を育む。

の三つです。ちなみに令和元年のメニューは次の通りです。

○第一回講座 七月十三日(土曜)

「川越城から川越のまちをさぐる」

○第二回講座 八月二十四日(土曜)

「埼玉の三偉人―塙保己一、渋沢栄一、荻野吟子―に学ぶ」

○第三回講座 十一月十六日(土曜)

「ロボット・プログラミングは難しくないぞ」

○第四回講座 十二月七日(土曜)

「鳥の行動の『なぜ?』を探る」

○第五回講座 三月十四日(土曜)

「東京スカイツリー、高さへの挑戦」※

未来塾のミ・ライ

この「くすのき未来塾」のこれからとして、今の段階で言えるのは、今後五年間は継続実施していく方針で、現在の実施スタイルを基本に評価・改善を繰り返すし、さらにより良いものにして行きます。それを可能にする優秀な人材が同窓生に多数存在するという点でもあります。そして、国の内外の幅広い分野で活躍している同窓会員についての情報を収集し講師として招聘することにより、その先の実施も視野に入れています。そのためにも、当事業について多くの同窓会員に周知を図ること、当事業実施運営委員会の円滑な事務引継ぎを図ることが不可欠であると考えています。

いずれにしても、川越高校同窓会は、新しく立ち上げた「くすのき未来塾」の活動を活発に展開、それを通して未来を支える子供たちの知的好奇心を刺激、涵養し、知の楽しさを知ってもらうことを推し進めて参ります。■



▼第三回くすのき未来塾・授業風景  
「ロボット・プログラミングは難しくないぞ」



▲受講者ネームプレート



# 「同窓会の輪」のその後

## 都立高校同窓会連絡協議会

新たな同窓会の姿を求めて 2020



●二〇一一年、小誌・三号では、これまで学校単位で活動するのが当然と思われていた同窓会の中に、複数校を横断するような形で連携し、新たな形の活動をしているところがあると聞き、その「都立高校同窓会の輪」という組織の活動の実際を記事にした。それから十年が経ち、現在のこの組織がどのような活動を展開しているのか、この十年で見えてきたものなどを「同窓会の輪」の中心となって活動されている同窓会の方々にお話を伺った。

### 同窓会連絡協議会の目的とカタチ

「都立高校同窓会の輪」は、四年ほど前に正式名称を「都立高校同窓会連絡協議会」と定めました。ただこれまでの「同窓会の輪」という呼称は愛称としてそのまま使われています。(以下本欄では「同窓会の輪」と呼びます。)

この十年、各校同窓会の役員の顔ぶれにも変化があり、多くの人との出会いもあって、十年の道程や活動内容を一口に言うことはできませんが、基本的な「同窓会の輪」の形、アウトラインは、十年前と大きくは変わっていないと思います。常に存在する「同窓会が抱える問題」や「改良すべき事柄」等を、学校の枠を超えて話し合い、知恵を出し合ってより良いものにすべく努力する、という基本的な目的に変わりはありません。

「同窓会の輪」の運営を担うのは複数の幹事校です。幹事校の選任は会員(参加校)の互選によります。任期は三年です。そし

て幹事校の中から「同窓会の輪」の代表と事務局(世話役)を選びます。現在の代表は、豊多摩<sup>とよたま</sup>高校同窓会の藤井理事長が務めています。また事務局はこの組織の発起人<sup>しきしやい</sup>でもある石神井高校同窓会が担当しています。



創設から約十年で参加校が八校から二十八校にまで増加したのは、同じ問題を抱えた同窓会が多かったことに加え、「同窓会の輪」の事務局から各都立高校同窓会事務局宛に会議の議事録や討議のテーマ等の文書を送付したり、役員の個人的繋がりを通じて参加を呼びかける、などの地道な働きかけによる結果だと思えます。更に、以前から「東京校歌祭」という二十校近い都立高校同窓会連帯の活動があり、この東京校歌祭の繋がりに参加校増の大きな要因でしょう。

定例の会議は年に二回(四月と十月)実施し、各校から二三名が出席します。出席する方の立場は各校さまざまですが、同窓会長や副会長、事務局長であることが多いですね。当日は、十三時三十分〜十五時三十分までが会議で、その後参加者全員での「懇親会」へと移行します。同じ悩みや苦勞を共有するメンバーとの懇親会は大切です。この懇親会では、会議では聴けなかった有意義なヒントや思わぬ情報を得るだけでなく、同窓会同士の連携が生まれることもあるようです。

そういうわけで、この懇親会は「同窓会の輪・定例会議2」とも言うべき貴重な時間だと捉えています。会場はその都度異なりますが、参加同窓会の増加に伴い、適当な規模の会場を確保するには案外苦勞します。最近では充実した施設内容とアクセスの便から武蔵小山駅近くの「小山台会館」を、小山台高校同窓会のご厚意で利用しています。

### 各同窓会の抱える問題

「同窓会の輪」のみならず、全国の同窓会の最大の問題は、同窓会活動の維持発展です。ご承知の通り、現在は少子化の時代で、廃校となる学校も増えています。こうした時代を迎えて、同窓会はどう活動していくのか、ということが、多くの同窓会にあって焦眉の急として認識されているのは間違いないと思います。さらにこれと連動する、同窓会への入会者の減少と同窓会費の納入減があります。母校支援や地元ふるさと支援も活動のメニューとしてしている学校同窓会にとって、存亡にかかわる現象が進行しつつあるのです。

こうした事情を座視するわけにはいかないという気持ちから、十年前に「都立高校同窓会の輪」という「意見交換の場」を立ち上げたわけですが、各同窓会それぞれに事情もあり、必ずしも方向が揃っていたわけではありません。ですから、参加同窓会の活動をまとめて、全体として何かを起動する、行動する、という方向は現実的ではなく、また実際にそのように動いたことありません。あくまでも「ゆるやかな繋がりに」という関係性を維持して、そこから



●左端より時計回りに

- 勝見 鈴代 (かつみ・すずよ)  
都立石神井高等学校・同窓会会長 (高 20)
- 藤井 研一 (ふじい・けんいち)  
都立豊多摩高等学校・同窓会理事長 (高 16)
- 都立高校同窓会連絡協議会・会長
- 青木 隆 (あおき・たかし)  
都立大泉高等学校・同窓会事務局長 (高 18)
- 上野 俊彦 (うえの・としひこ)  
都立石神井高等学校・同窓会会計担当役員 (高 17)
- 大久保 利一 (おおくぼ・としかず)  
都立石神井高等学校・同窓会顧問 (前会長・高 17)
- 木村 好一 (すずき・こういち)  
都立石神井高等学校・同窓会誌「きずな」編集人 (高 24)

お互いに良いものを見つけ、それをそれぞれがそれぞれのやり方で取り入れる、という形で今日までやってきました。

そういうやり方で、果たして目の前の問題が解決できるのかと言えば、なんとも言えませんが、「同窓会の輪」に参加し公私に渡って意見を述べ合い、その中から生まれる連帯の心をベースに、ともすれば蝸壺化しがちな同窓会を客観視し、「これからの同窓会の活動」を考えていく事は決して無駄ではないと思います。実際の「同窓会の輪」では、事前にメールその他で、種々の意見や議案としたいテーマ、各種の情報などが提示され、急を要するものや、重要度が高いと思われるものから順に議題として話し合われます。ただなにぶん時間に限りがありますので、毎回一〜二件のテーマを議論するのが現状では限界です。

「協議会」の活動とこれから

会議にあつては、各同窓会にとって最も関心の高い「同窓会員」の入会率、および「同窓会費」の納入率の減少についての対策が毎回話題になります。以前であれば、卒業生＝同窓会員というのが当たり前だったものが、今は卒業時に同窓会に入会するか否か、本人の希望を取るという形に変わりました。入会者の減少は、当然入会金や終身会費等の同窓会収入の減少につながります。この部分の収入が以前のように確保できるかどうかは、同窓会の諸活動に大きな影響をもたらします。

これらへの対策の一例としては、従来は卒業時に同窓会への入会の同意を取っていたものを、入学時にお願いすること

に変更する、また同窓会への入会を促す際に、学校が生徒に同窓会の意味をどのように説明するかは大きなポイントです。から、普段から学校とのコミュニケーションを密にするなど、良好な関係を保つための努力も必要です。このほか種々の問題に対し、実際に行った事例と結果、その効果、具体的な実施のポイントなどの情報が共有できるのも「同窓会の輪」の大きなメリットと言えるでしょう。

またこれと並行して、同窓会の活動のあり方、また母校支援とその具体的内容についての意見や計画についても、さまざまな発表があります。母校支援といった場合、周年事業で見られるような、学校施設の新設ないしは増改築などの他に、例えば継続する支援活動の一つとして、学校だけでは実施が難しいと思われる「奨学金制度」や「海外留学制度」などの設置をしている学校の例が議論されたりと活発です。もちろんそこまでいかななくても、OBによる特別授業や、在校生の自主的活動の支援ないしは協働など、更には社会経験の豊富なOB・OGたちの協力態勢を同窓会として構築する、というような社会との連携活動も、学校側や役所方面、また地元理解と協力が得られやすいでしょう。

個々のヒントは案外たくさんあるように思えます。あとは協力者を見つけて、社会も巻き込んで、地域全体として具体化していくということですね。その時に、同窓会が中心に動き、関係者の潤滑油になって活動できれば、まずはひとつの事業の完成です。そしてそれを繰り返していく。「同窓会の輪」では、我々自身がどのように進化していくのかを見据えつつ積極的な議論と活動をすすめて参ります。



▲定例会場の小山台会館

■「都立高校同窓会連絡協議会」参加校

1	青山高等学校
2	井草高等学校
3	大泉高等学校
4	清瀬高等学校
5	国立高等学校
6	芸術高等学校
7	小山台高等学校
8	鷺宮高等学校
9	新宿高等学校
10	石神井高等学校
11	神代高等学校
12	杉並高等学校
13	第一商業高等学校
14	第三商業高等学校
15	竹早高等学校
16	立川高等学校
17	千歳高等学校
18	戸山高等学校
19	豊多摩高等学校
20	西高等学校
21	白鷗高等学校
22	富士高等学校
23	文京高等学校
24	松原高等学校
25	武蔵丘高等学校
26	武蔵高等学校
27	目黒高等学校
28	雪谷高等学校

※ 2013年以降に一回でも参加の同窓会  
 ※校名の50音順に掲載  
 ※      は幹事校



●連絡先  
 福島県立福島商業高等学校同窓会事務局  
 〒 960-0111 福島県福島市丸字字辰ノ尾 1  
 TEL & FAX 024-553-6224  
 URL : <https://fukushima-ch.fcs.ed.jp>

# 私と同窓会

## 福島県立福島商業高等学校同窓会 くにお 会長・引地洲夫

信義全力・不撓不屈の校訓とともに



■引地 洲夫氏の略歴  
 昭和 33 年 (1958) 県立福島商業高校卒業  
 昭和 37 年 (1962) 福島大学学芸学部卒業  
 福島県立高校の教諭に着任  
 平成 9 年 (1997) 福島県立本宮高校校長に就任  
 平成 14 年 (2002) 福島県本宮町教育長に就任  
 平成 19 年 (2007) 福島県本宮市教育長に就任  
 現在、地元地区町会連合会長他ボランティア活動中

大正四年（一九一五）創立、百二十二年の歴史を持つ福島商業高校は、阿武隈の大河のごとく涸れることなく、頼りになる人材、頼りにされる人材を世に送りだし、その豊かな流れを今に続けています。この間、「信義全力・不撓不屈」の校訓に培われた福商精神を胸に抱き、母校を巣立ち飛翔した卒業生は二万七千七百五十九名の多きを数えます。

昭和三十七年四月、私は「荒廢する母校を救えるのはお前しかいない」と言う多くの方々の声に促され母校の教壇に立つ事になりました。ところが転入職員着任式の日、会場は校長の挨拶も満足に聞こえない喧騒の渦です。千人を越す男子生徒が烏合の衆と化していました。師が壇上に立つと水を打ったように静まり返ったかつての姿とは大違いです。その時、名門福島商業の誇り高き時代の復活を目指す決意、「このようなさまは先輩として許さない」と壇上から一括、沈黙の大切さを知らしめたのが母校の教壇に立つ先輩としての第一声でした。

その後、誇りを失っている生徒たちに対し、母校の輝かしい歩みを伝えるために、全国に飛翔し政財界で活躍している先輩の姿を知らしめたいと関東支部を立ち上げました。そして「青春歌」を母校に残し、創立六十周年に自ら作曲された校歌「若き心」の歌唱指導に母校を訪れた日本一の作曲家、古閑裕而先輩に関東支部第二回総会に参加していただきました。

福島市名誉市民でもある古閑裕而先輩の存在は、改めてふるさとの姿を見直すきっかけともなり、結果、福島市長を始め地元政財界に綺羅星のごとく名を連ねてい

る先輩たちの姿を在校生に知らしめる上で効果大なるものがありました。

百周年に備え、次なる支部の結成等、築き上げてきた歴史の重みと伝統の数々を継承し汚すことなく次の世代に引き継ぐ責務を果たすために、会員情報の整備にも取り組みました。会員情報は同窓会の基礎であり根幹を成すものです。それなくして同窓会活動は成り立ちません。ですから同窓会名簿の作成に真摯に取り組み、多くの方々の協力を得て発刊できたことは誠に喜ばしいことであります。

百周年記念事業では、母校の教頭という立場から事務局長を務め、会員の方々のご協力のもと、広く募金を呼びかけて二億千百万円の募金をいただき、同窓会館の建設、高い評価をいただいた記念誌の発刊と、母校の教育の充実につとめました。

私自身も、校長、教育長と七十近くまで勤め上げ、勇退後は公務員として四十数年間税金で養っていたいただいた恩返しとの思いで、町内会長会・会長、社会福祉協議会会長等、十指に余る無報酬のボランティア活動の会長を、楽しく、忙しく過ごしていたところ、思いがけなく同窓会会長に任命されました。歴代の会長は、企業のオーナー、銀行の頭取、市長、商工会議所の会長と、地域の名士ばかりでした。「ネームバリューも財力も遠く及ばない私でいいんですか？」と大先輩に伺ったところ「熱血と呼ばれた君のパワー、君の母校愛に期待する」「自らの母校への思い入れを実現せよ」との激励を受け「同窓会は母校にとっての最大にして最高の協力者であるべきだ」との信念のもとに「全ては母校のため



▲福島県立福島商業高等学校校舎

に」をスローガンとして掲げました。就任早々発生した東日本大震災、原発事故の放射線とその風評被害、更に追い打ちをかけるような台風・豪雨などなど、これらの災害対応に対して同窓会名簿の果たした役割は大なものがありました。おかげさまで「個人情報保護法」を盾に、人と人との「絆」を破壊する風潮を跳ね返す、同窓会名簿作成他の百二十周年記念事業も無事終了しました。令和二年、古閑裕而先輩をモデルとしたNHK朝のドラマ「エール」の決定齋藤秀夫画伯（昭和三十五年卒）日展洋画の部・内閣総理大臣賞受賞の朗報に接し、多くの人と喜びを共にしました。第八代同窓会長に任命されて八年、八十歳、未広がり八にあやかっ母校同窓会のさらなる発展を祈念いたします。

## ●連絡先

〒761-8082 香川県高松市鹿角町上折 394 番地  
香川大学教育学部附属高松中学校内  
同窓会事務局  
TEL 087-886-2121 / FAX : 087-886-2141  
E-mail : fuzoku.takamatsu.baiyukai@gmail.com  
URL : http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~takachu/

## 部活動OB会

香川大学教育学部附属  
高松中学校同窓会 (梅友会)

## 自らが主体的に生きる、自主自律のススメ

左・松岡 敬文(まつおか・ひろふみ)氏(梅友会元会長・昭和40年卒)  
中・大西 俊彦(おおにし・としひこ)氏(梅友会総務部長・昭和52年卒)  
右・人見 訓嘉(ひとみ・くによし)氏(梅友会事務局長・平成3年卒)



●香川大学教育学部附属高松中学校の同窓生は、かつての部活動の繋がりを中心に、他の部活動の同窓と語り、年に一度「部活動OB会」として母校に集まっている。それぞれが所属していた運動部で、在校生チームとOBチームとの対抗戦を行い、その後懇親会を開いて母校のことやお互いの近況などを話し合うイベントを開催している。このユニークな催しの実際を、同窓会活動の中心で尽力されている方々に伺った。

高松中学校は、一クラス三十五人から五十人で一学年三クラスです。同級生同士はもちろん、先輩と後輩やOBと在校生の繋がりが非常に緊密で強いのが特徴です。その特徴をよく表しているのが「部活動OB会」です。

三十四年前、バスケット部のOBの間で、久しぶりに試合をしようということになり、十一人が集まりました。バスケットは五人対五人のスポーツですから、これに審判を加えるとギリギリの人数です。これでは体力的に何試合も行いう事が出来ず、長く続けられないと思い、翌年に母校の先生及び現役バスケット部員に参加を呼びかけ、快諾を得ることができ、「在校生チームとOBチームの対抗戦」開催の運びとなりました。こうした、OBが集まり試合をするという考えは以前からありました。この催しでは、梅友会と部活動OB会からボールなどの備品購入や遠征費の一部を援助しています。

翌年の「バスケットOB会」にはOB五十人、現役中学生の男女が六十人、計百十人が集まり、大いに盛り上がりまし

た。上は中年のオジサンから、大学生も高校生もいて、それが中学生の男女と一緒に汗を流し歓声をあげる。その光景はまさに高松中学校の伝統である先輩後輩の強い繋がりを表したものです。

この「バスケットOB会」の成功に意を強くして、他の運動部にも参加を呼びかけることになり、それが今日の「部活動OB会」の開催に繋がっています。「部活動OB会」は毎年八月第三日曜日に母校で行われます。現在の参加部は、バスケット部、野球部、卓球部、サッカー部、バレーボール部で、母校の運動場、体育館他に別れて行います。場所が限られていますから、種目を午前午後に分けてそれぞれ行うこととなります。ほぼ一日キャンパス中でOBと在校生がさまざまなスポーツをしているんですから、ちょっとした運動会ですね。もちろん運動部に所属していない在校生も応援にやってきます。そして令和元年からはOBが腕を振るってうどんを作り、在校生にふるまうという形式を導入しました。試合終了後は場所を移し、毎年OBだけで、運動部合同の懇親会を開きます。実際、OBにすれば、若い人たちの交流は大変新鮮な経験でもあります。

最近では、先輩後輩だけでなく、自分の子供、友人の子供、孫たち世代との試合も経験出来るようになりました。また、縦の世代だけの繋がりでなく、様々な職種で働き活躍しているOBや大学生とも交流が始まり、色々な方向へ発展しています。高松中学校の繋がりがますます強くなっているのではないのでしょうか。

昨年、令和元年八月の「部活動OB会」の際、多くの先生から、OBに在校生がふ

れあい交流することで、大変良い影響を与えている旨の言葉を頂きました。来年からは吹奏楽部も参加する予定で、やがて他の文化部をも巻き込んだ形に持っていきたいと考えています。■



▲OB会の集合写真

## ▼懇親会の様子



# 北大的就活生支援

## 北海道大学経済学部同窓会

アクティブで力強い同窓会を構築し、  
全ての会員の未来を切り拓く

●北海道大学経済学部同窓会では、同窓会の健全な維持発展の視点から、現役学生の同窓会員化を図っている。その上で学生の最大関心事である進路選択と実際の就職活動の支援・指導を、外部の就職情報企業とコラボして実施している。これは全ての学生会員を対象としていて、企業情報の提供から面接時におけるノウハウ提供までキメ細かいサポートをする試みだという。

二〇一九年に開始したこのプロジェクトの具体的な内容と、なぜ同窓会がそうした活動を推し進めるに至ったのか、その経緯を、同窓会副会長で事務局担当の岩本栄一氏に伺った。

まず初めに申し上げますが、学生の就活については、従来より大学の事務方（キャリアセンター）が基本的には担っています。そこになぜ同窓会が関わり、さらに「マイナビ」という人材広告・情報サービス企業とコラボするのかをまずお話ししたいと思います。

一般的に同窓会というものの機能・役割は、会員同士の親睦・交流の場であることと同時に、母校の支援であるとされています。では、その母校の支援とは具体的にどのようなものかと言えば、大抵の場合はイベントなどへの人的支援のほか、何らかの物品、施設、あるいは現金などの寄付行為であるケースがほとんどのように思います。また、一部の大学同窓会では基金を作って奨学金制度を創設したり、海外留学の際の経済的支援や寄付講座の開設などを行っているなどの例も耳にします。これ

らは各同窓会によって事情が異なりますし、それぞれに特徴ある形が生まれていると思っています。

我々北大経済学部同窓会では、学生の最大関心事の一つである「就職」に着目し、学生と企業の橋渡しをしながら、最終的には双方のよりよいマッチングの実現を目指そうと考えました。しかし同窓会には人脈があっても就職支援を行う際の現状に即した専門的な知識がありません。そこでプロの大手企業と手を組んで、学生・企業双方にとっていい出会いができればと考えました。

これが「マイナビ」とコラボした最大の理由です。

### 就活支援の背景にあるもの

元々、「協賛金（学生支援金）制度」という同窓会員が毎年任意に寄付をする制度があります。これは母校の学生への学業向上を目的とするもので、学位授与式後の式典援助や優秀卒論の表彰および副賞授与等に充てるなど、これはこれで十分機能しており学部関係者からも評価をいただいております（当同窓会は昭和二十五年の第一期生から約一万一千名の会員がおり、この「協賛金」は主に年輩のOB・OGが拠出されているようです）。

これとは別に今回の就職支援プロジェクトを行う契機となったのは、何と云っても二〇一九年より現役学生を同窓会員に迎えたことです。同年より同窓会規約を改正し、この旨を直ちに在学生及びその父兄

宛てに告知しました。その結果多くの会費（在学生及び新入生には優遇会費を適用）を集めることができました。正直なお話をしますと、これで一気に同窓会として学生支援のスイッチが入り実行に向けて動き出したのです。

同窓会費を貰う以上、早急にかつ目に見える形で還元する必要も生じ、急ぎ学生へのヒアリングに加えて同窓会幹部らと話し合いを行いました。その結果、多くの支援策の中でも「就職活動」支援に先ず手を付けようということになったのです。

これらを進めるにあたっては当然北大経済学部の協力と支援は不可欠です。案内掲示の了解、会場使用の許可などはもちろん、そもそもこのような活動を同窓会やそのアウトソーシング先が行うことの意味を伺う必要もありました。



▲古河講堂（東翼）。  
1909年、古河財閥の寄附により建設。有形文化財（国指定）





●連絡先 北海道大学経済学部同窓会  
〒060-0809 札幌市北区北9条西8丁目  
北大経済学部内 3F 304 室  
TEL & FAX 011-706-4113  
E-mail : dosokai@econ.hokudai.ac.jp  
URL :https://www.econ.hokudai.ac.jp/~alumni/

岩本 栄一（いわもと・えいいち）氏（S49 卒） 同窓会副会長・事務局担当

経済学部校舎▶

▼校舎脇の古河講堂



幸い、平本健太経済学部長（兼経済学研究院院長）や事務局の皆さんには即刻ご理解とご協力を賜り、スムーズに事が運びました。むしろ平本先生からは賛意にとどまらず強く背中を押していただけました。

次はコラボする企業の選定です。大手のR社と「マイナビ」に絞って提案をいただくことにしましたが、この種の提携先選定のポイントは提案内容はもちろんですがやはり「相性」だと思います。「マイナビ」は話を持ち掛けた時から極めて前向きで、若いスタッフ陣が早々に事務局にやってくる。きてて当方の意見をよく聴取し、その後も実行に向けて熱意とスピード感のある対応をいただきました。

### 就活支援の実際

こうして第一回目の打ち合わせが昨年夏休み前、丁度三年生が初めてインターンシップを申し込む時期でした。三年生を対象に『インターンシップ選考直前実践対策講座』と銘打ち、一・五時間を二コマ行いました。対象者の三分の二が参加し、関心の高さを実感しました。

マイナビ社によるポスター作製、事前アンケート募集、出席者向け粗品提供、また同窓会による会員への告知、ポスター掲示、セミナー時挨拶と初めてにしては順調な協力態勢が組みました。

セミナーの内容は、エントリーシートに自己PRと志望動機などを的確に要領よく表現できるか、面接時に好印象を訴求できるかなど、グループワークを交え集中力を途切れさせない講義内容を心掛けま

した。一般的に言われているように「ゆっくりしている北大生」にとっては極めて有効であったと思います。

さらに年末には翌年からの本格的な就活を睨んで『選考対策講座—文系編』と謳い、前回よりも実践的な講義内容と同様のカリキュラムで行いました。法学部同窓会も趣旨に賛同し、経済学部以外の文系学部からも多くの参加者を集めることができました。特に北海道を代表する企業の卒業生が登壇し、企業人として本音で語った際には学生からもたくさん質問が寄せられるなど好評でした。

また、一年生、二年生に対しては十二月二十三日に『今から考える 低学年向けキャリアガイダンス』を開催、今後の就職状況はどうなるのか、そして今のうちにできることは何かに絞って実施しました。マイナビ社の用意した豊富なデータや同窓会から紹介した就職環境の説明、就職実績などを熱心にメモを取る学生もいました。やはり「まだ先の事」との認識からか今一つ集まりが良くなかったようです。

### 同窓会と就活支援のこれから

この就活支援に対する学生の反応は概ね強く、アンケートを見ても一定の評価は得られたように思います。当然のことながら、学生は学生で種々の情報を参考に自力で就職先を探しています。特にネット経由の情報取得や希望先へのアプローチも昔のやり方とは全く違います。さらに今という時代が空前の「売り手市場」だからというのも大きい要因でしょう。そういう

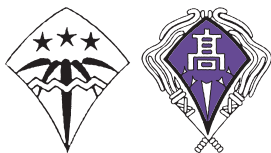
中でさらに改善を行い、タイムリーに学生の求める情報を提供できるよう関係者とも協議・工夫していきたいと思えます。北大経済学部はそれほど大きな所帯ではないので、首都圏、関西圏の主要国立・私立大と比べ同窓会員の数も多くはありません。同窓会は北大らしく、地味ながら人間味ある活動を通して会員のプラットフォームとして機能していこうと考えております。

同窓会はこれからの時代、会員の価値観の多様化によって従来型の運営を繰り返しては存在自体が埋もれかねません。一方「個人情報保護」は活動の制約ともなっていて、知恵が求められています。今回のプロジェクトが少しでも学生会員の就職活動の力になって、結果として同窓会のプレゼンスが上がることを期待しています。■



▲北大を象徴するクラーク博士胸像

▲構内を流れるサクシュコトニ川  
昭和初期までサケが遡上していた。



# 社会貢献と同窓会

## 大阪府立阿倍野高等学校芝蘭会 (同窓会)

●連絡先 大阪府立阿倍野高等学校芝蘭会 (同窓会)  
(会長・前田嘉昭/高18期)  
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 1-30-34  
TEL & FAX : 06-6627-1004  
E-mail shirankai@oct.zaq.ne.jp  
URL : http://www.shirankai.jp

### 犯罪被害者支援活動を通して 同窓会と学校の絆を強固にする

●大阪府立阿倍野高等学校芝蘭会では、二〇一四年から、不要になった書籍やCD・DVDなどをOBの方々を中心に提供してもらい、それを現金化し、犯罪被害に遭った方を支援している援助センターに送り続けている。この社会貢献活動のきっかけと運営の実際を、同窓会の中心で活躍されている方々に伺った。

活動のきっかけは、今から五年前、芝蘭会(同窓会)の相談役として長年支えてくれた橋本胡永氏(高女十七回生)が永眠されたことに始まります。その際、ご令嬢の松村裕美氏(高二十一期)から「生前は母がお世話になりました」と芝蘭会にご寄付をいただきました。そのお礼に同窓会として何か出来ることはないか模索していたところ、松村氏が勤務されている「おうち犯罪被害者援助センター」での活動を知り、芝蘭会の事業の一つとして協力することを決定し支援活動を始めました。

「援助センター」では、「ホンデリング」本でひろがる支援の輪」という運動をしています。これは不要になった書籍やCDなどを集め(寄贈してもらい)業者を通じて販売、その収益金を寄付として犯罪被害者の支援活動に役立てようとするものです。プロジェクトの流れは明快で、寄贈しようとする側の手続きや作業も容易です。寄贈品目は書籍、CD、DVD、ゲームです。最低五箱以上を用意し、業者のフリーダイヤルに電話すると後日ヤマト運輸が送られてきます。その後「書籍寄付受領書」がありますが、査定がつけば、その点数と寄付金額もわかります。査定額(寄付金額)

は業者から全国被害者支援ネットワーク経由で「おうち犯罪被害者支援センター」に振り込まれます。こういうレポートやお礼のメッセージがあるのは励みになりますね。自分たちの努力が明快な形で見えることも嬉しいし、やりがいがあります。書籍などを集めるのはさほど難しいことではありません。芝蘭会では、まずは役員の読まなくなった蔵書供出からスタートしました。それから卒業生など身近なところに働きかけ、この五年間でおよそ一万冊を集めました。この運動に参加しているのは、主に近畿圏在住の卒業生ですが、今後は運動の対象を学校、PTAにも広げていきたいと考えています。

同窓生と現役は、連帯という点から言えば、どうしても離れてしまう傾向にあります。そうした状況を改善すべく、芝蘭会では「援助センター」の趣旨に賛同することの意義を理解してもらい、この社会貢献活動を通して、学校、在学生の芝蘭会への意識のアップを図り、最終的に母校の発展に寄与する形を作りたい、と考えているわけです。もちろん芝蘭会への帰属意識を高めることで同窓会費の納入増にもつなげたいとする考えも確かにあります。ですが根底にあるのは、同窓であることの連帯意識と母校支援の体制をより強固にしていきたいという同窓会本来の目的の実行にあります。

社会貢献にはさまざまなやり方があると思いますが、在校生には、犯罪被害者支援活動を通して、世の中の現実を目を向け、共に生きていくことの意味と思いをやりを学んでほしい、と願っています。



▲大阪府立阿倍野高等学校



上：前田広嗣(まえだ・ひろし)氏  
(高23期)同窓会事務局長  
野村紘子(のむら・ひろこ)氏  
(高17期)同窓会事務局長



右：宮地克茂(みやじ・かつしげ)氏(高18期)  
同窓会副会長





埼玉県立松山高等学校同窓会  
 https://saas01.netcommons.net/matsukoob/htdocs/  
 〒 355-0018 埼玉県東松山市松山町 1-6-10  
 埼玉県立松山高等学校内  
 TEL & FAX : 0493-24-2634

# わが学び舎

## 埼玉県立松山高等学校

ぶんぶふき  
文武不岐の精神を継承して

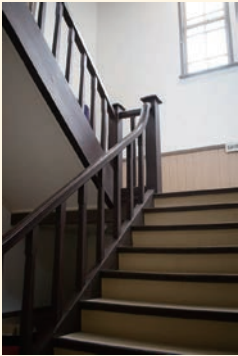


桑原 幸夫 (くわばら・ゆきお) 氏 (高 24 回)  
 (同窓会事務局長)

### 岐不武文

#### 沿革

大正十一年(一九二二) 六月二十七日、埼玉  
 県立松山中学校の設置を松山町に定める。  
 大正十二年(一九二三) 三月十日、校舎竣工。  
 四月九日、授業開始。五月五日、開校式挙行。  
 昭和二十三年(一九四八) 四月一日、学制改  
 革により埼玉県立松山高等学校となる。六  
 月三十日、定時制課程を設置。  
 昭和四十五年(一九七〇) 七月十日、松高記  
 念館竣工(旧松山中学校校舎本館)  
 昭和四十九年(一九七四) 二月十九日、創立  
 五十周年記念式典挙行。  
 平成元年(一九八九) 四月二日、理数科設置。  
 平成十五年(二〇〇三) 十一月二十二日、創  
 立八十周年記念式典挙行。  
 平成二十二年(二〇〇九) 四月一日、普通科  
 特進クラス設置。  
 平成二十四年(二〇一〇) 四月一日、文部科  
 学省より、スーパーサイエンスハイスクー  
 ルに指定(平成二十八年度まで)。  
 平成二十六年(二〇一四) 三月三十一日、定  
 時制課程を廃止。  
 平成二十九年(二〇一七) 四月一日、文部科  
 学省より、スーパーサイエンスハイスクー  
 ルに指定(二期目 令和三年度まで)。  
 令和五年(二〇二三) 創立百周年。■



#### 表紙写真・解説

##### 松山高等学校校舎記念館

大正十二年竣工の旧制松山中学校校舎の  
 本館を、昭和四十五年に両翼を撤去して移  
 築したもの。創立八十周年記念事業の一環  
 として整備され、「教育資料館」として平  
 成十六年七月に開館した。

校舎は、縦長の上下窓を規則的に配し、  
 ドーマー(採光を主目的として屋根に取り  
 付ける窓)等で屋根を装飾し、塔屋を中央  
 に載せている。内部には「近代日本と松高  
 の歩み」「同窓生の広場」「輝く生徒の活  
 躍」のテーマに沿った展示が行われてい  
 る。またこの記念館は、埼玉県内の旧制中  
 学校の遺構として貴重なものであり、令和  
 二年、国の登録有形文化財(建造物)に登  
 録された。■



開校式の受付風景 (大正12年5月5日)

▲開校式の受付風景  
 大正 12 年 5 月 5 日、竣工成った松山中学校。

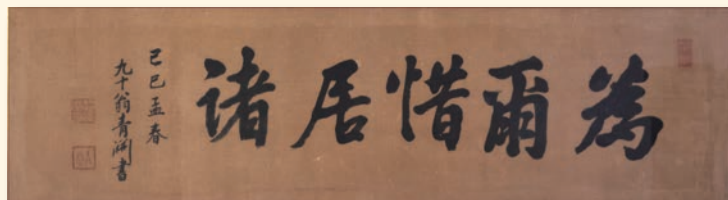
●教育資料館は平日一般に開放されています。見学  
 ご希望の方は事前に予約をお願いします。入館無料。



#### 資料館の展示

松山高校の建学の精神  
 「文武不岐」を実践する生  
 徒たちの、創立時より現在  
 に至るまでの学校内外にお  
 ける活躍が、豊富な資料と  
 パネルで紹介されている。  
 また、植村直己冒険賞を  
 受賞した川島町出身で O B  
 の熱気球冒険家・神田道夫  
 氏の輝かしい冒険歴がま  
 められた巨大パネルも必見。  
 さらに映像制作部が作成し  
 た「松山高等学校映像特集」  
 も興味深い。

爲爾惜居諸(なんじのために きよしよをおしむ)  
 埼玉県出身の実業家、渋沢栄一(号を青淵という)  
 の書。昭和四年(一九二九)九十歳の時、松山中学校  
 生徒を励ますために書かれたもの。中国は中唐の八  
 九世紀の文人で士大夫・韓愈の詩の一句。自分の息子  
 を励ますために作られたもので、「お前のために、とも  
 すれば過ぎ易い月日を惜しむ」という意味、一時間を惜  
 しんで学びなさい」というメッセージである。



# ごあいさつ

令和の時代とともに変化する  
同窓会の在り方



株式会社サラト・代表取締役  
福田 裕一（ふくだ・ゆういち）

●詳しくは、弊社ホームページから  
URL : <https://www.salat.co.jp/>

小誌『同窓会のチカラ』第三号を全面リニューアルしてから、今号で十号目を迎えました。

発刊当初の第一・二号は、統計的・一般的な内容を中心に紹介し、弊社の持つ情報が少しでも同窓会活動の一助になればとの想いで編集しておりました。そしてその上で、より具体的、実践的な情報誌としてブラッシュアップを図ろうと考え、事例紹介型の編集に方針転換し現在に至っております。おかげさまで今号までに全国延べ約八十校を紹介させていただきました。オリジナルティあふれる事例や、他校でも実践可能な活動まで幅広く紹介してきましたが、一つでもみなさまのお役に立てたのであればわたしたちにとっても嬉しい限りです。

また最近では、一昨年の第十号で紹介したクレジット決済による会費徴収や、昨年の第十一号で紹介した制服オリジナルリカちゃんについて、多くの同窓会からお問い合わせを頂戴するなどの反応がありました。こうした声に力を得て、今後は、若年層の参加率向上、永続的運営のための財源確保などの役立つ情報をもっともっと紹介していきたいと考えております。

平成から令和へ時代が移り、人々のライフスタイルやニーズは今後ますます多様化することでしょう。その一方で、個人情報保護の観点から、自身の情報を知られたいくない人、知らせたくない人が増えていけば、同窓会活動に支障をきたすこともあるでしょう。

しかしながら、小誌の取材に同席し、同

●制服オリジナルリカちゃんに  
新しい仲間が増えました  
ご好評をいただいています「制服オリジナルリカちゃん」に新しい仲間が増えました。



左より：広島県・比治山女子高等学校  
兵庫県立姫路南高等学校  
栃木県立烏山女子高等学校  
兵庫県・西宮市立西宮高等学校  
神奈川県立厚木東高等学校

©TOMY

窓会に携わる方々の熱い想いに触れるたびに、同窓会は卒業生一人ひとりの精神的支えであり、社会に貢献する存在でもあることを強く実感します。

同級生という「点」が、先輩後輩という「線」となり、さらに人と人が繋がり「面」となる。わたしたちサラトは同窓会活性化のために、時代とニーズに応じた活動をこれからもサポートしてまいります。

## 同窓会のチカラ 2020年号 / Vol. 12

(2020年4月発行)

編集・発行 株式会社サラト  
本社・〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
TEL 0120-138-000 ● FAX 079-224-7746  
東京支社・〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7  
シモジンビル5F  
TEL 0120-03-6381 ● FAX 03-3832-6389  
E-mail [eigy@salat.co.jp](mailto:eigy@salat.co.jp)  
URL : <https://www.salat.co.jp>

**SALAT**  
Salat Corporation

制服オリジナルリカちゃんの製作をお考えの同窓会様へ  
制服オリジナルリカちゃんの製作には、制服の仕様確認・デザイン画の作成・試作品の作成・購入受付・完成まで、最低でも約一年の期間が必要となります。学校の周年事業や制服リニューアルを記念して製作をお考えの場合は、お早めにご相談いただければと思います。どのような事でも結構です。まずはご連絡をお願い致します。

サラトは昨年（令和元年）、全国百八十六校の同窓会名簿を納品させていただきました。発行にご協力をいただきました同窓会・学校・会員の皆様へ心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。